

原市場聖書教会

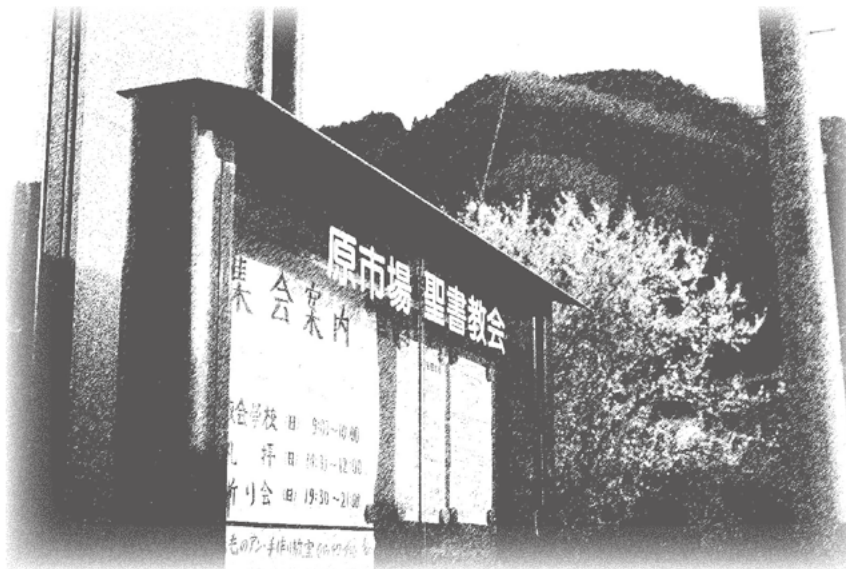
NO. 783

週 報

年間聖句

**だからこそ、あなたがたはあらゆる熱意を傾けて、
信仰には徳を、徳には知識を、
知識には自制を、自制には忍耐を、忍耐には敬虔を、
敬虔には兄弟愛を、兄弟愛には愛を加えなさい。**

第二ペテロ 1章 5～7節



2020. 4. 12

イースター主日礼拝

2020年 4月 12日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：若村和仁師 奏楽：若村和仁師 受付：関久美子姉
パワーポイント：若村和仁師 感謝の祈り：若村めぐみ姉

賛	美	「主はいま生きておられる」	—	同	
祈	り		司	会	者
今月の賛美		「初めにおられた神のみことば」	—	同	
使徒信条			—	同	
主の祈り			—	同	
賛	美	聖歌171番「よびとようたえ」	—	同	
献	金		—	同	
感謝の祈り				若村めぐみ姉	
賛	美	聖歌195番「わがめをひらきて」	—	同	
聖書朗読		マタイ28章11節～20節	司	会	者
説	教	「いつも共におられる主」		若村和仁師	
黙	禱		—	同	
賛	美	聖歌172番「はかのなかに」	—	同	
頌	栄	聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	—	同	
祝	禱			若村和仁師	
後	奏			奏楽者	
報	告		司	会	者

●礼拝後の昼食会は
4月いっぱいお休みとします。



「いつも共におられる主」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

マタイ28章11節～20節

11, 彼女たちが行き着かないうちに、番兵たちが何人か都に戻って、起こったことをすべて祭司長たちに報告した。

12, そこで祭司長たちは長老たちとともに集まって協議し、兵士たちに多額の金を与えて、

13, こう言った。「『弟子たちが夜やって来て、われわれが眠っている間にイエスを盗んで行った』と言いなさい。

14, もしこのことが総督の耳に入っても、私たちがうまく説得して、あなたがたには心配をかけないようにするから。」

15, そこで、彼らは金をもらって、言われたとおりにした。それで、この話は今日までユダヤ人の間に広まっている。

16, さて、十一人の弟子たちはガリラヤに行き、イエスが指示された山に登った。

17, そしてイエスに会って礼拝した。ただし、疑う者たちもいた。

18, イエスは近づいて来て、彼らにこう言われた。「わたしには天においても地においても、すべての権威が与えられています。

19, ですから、あなたがたは行って、あらゆる国の人々を弟子としなさい。父、子、聖霊の名において彼らにバプテスマを授け、

20, わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」

今月の賛美

46

初めにおられた神のみことば



1 はじめにおられた -かみのみことば -ほし
 2 うしなわれたもの -すくいだすため -てん
 3 はかを打ちやぶり -死にしょうりして -とり



とつきと日を -つくられた主よ あな
 の御座をおり -ひととなられた 御手
 こを引 き連れ -てんに のぼった ちち



たのみこえは -ぜんちをたもつ -そら
 を差しのべて -ひとをたすけた -けれ
 のまえに立ち -いまもとりなし -くに



と うみ と 地は -よろこびうたう -
 ど も十 字 架は -たえしのぼれた -
 ぐ にの た みを -みくにへまねく -

(くりかえし)



イエスは すくいぬし -世のつくりぬ



し -みこえはぜんちにひびく

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり
アーメン

メッセージ要約

●本日は、イースターです。欧米をはじめ、キリスト教国は、クリスマス以上にこのイースターをお祝いするともいわれるほどの大切な日であります。ではなぜそれほどまで大切な日なのか？それは、神であられる方が、人の姿を取ってこの地上に来られ、罪と戦う私たちを裁くのではなく寄り添って下さったからです。また、神であられるお方ご自身が、神様の声に「聞き、従い歩む姿」の模範を示して下さったお方です。そのような愛に溢れた救い主イエスキリストを、罪深い人間は、十字架刑へと追い込んでいったのです。しかし、イエス様は人々を罪の中から救うために唯一の方法を実践されたのです。その方法は、ご自身で責任を取るということです。十字架の道から逃げず、まっすぐゴルゴダの丘へと自分の足で進んでいかれたのです。そして、十字架に架かり死なれました。しかし、その後、旧約聖書が語る、救世主の復活が現実となり成就したのです。その、イエス様の復活された日こそが「イースター」なのです。この旧約聖書から語られてきた神様の約束です。その約束を神様は、救い主のお誕生のクリスマスから、受難の十字架の死、そして復活まで神様は約束通り救いの計画を実践されたのです。だからこそ、この偉大なご計画の締であるイースターがより大切で世界中でお祝いされる日となっているのです。

今日はそのイースター当日の出来事を目撃した人たちに起こった出来事から、人間の罪の本質は、自分の失敗や嘘を覆い隠すためにさらに嘘を重ねる弱さが見えてきます。また、人は自分自身が見て体験してこそ本当の信仰へ導かれる姿が語られています。

1. ローマの兵隊は正直に状況を報告した。

ローマに支配されていたこの聖書の時代、ローマ兵たちは、自分たちがまかされていた死刑囚などを取り逃がしてしまった場合は、自分が代わりに死刑に処せられるというような時代でした。そのような時代でしたので、お墓の番をしており、目の前で起こった出来事を正直にすべて報告したのです。しっかりと自分たちは、お墓の前で任務を果たし、そこで見た状況をごまかすことなく報告したのです。しかし、イエスキリストは聖書の約束する救世主ではないと疑い、神を冒した罪びとだと疑い、祭司長達は、世界で一番残酷な死刑法である十字架刑へと導いてしまったのです。イエスキリストは、旧約で語られている救世主のように、自己犠牲の道は選ばないだろうと思っていたかもしれません。また、たとえ十字架刑を素直に受けたとしても、死から復活などするはずがないと思っていたのです。しかし、その予想を裏切られたのです。イエス様の十字架刑の姿を見た人々だけでも、彼は聖書の約束する「救世主」であった。と多くの人が信じ始めていたのです。だからこそ、ここで復活したとなれば、自分たちの立場が危ないのです。そこで、復活を目撃した兵士たちの口を何とか封じたかったのです。そこで、考え付いた方法が次のポイントです。

2. 祭司長や長老たちは金を用いてローマ兵の口封じをした。

祭司長たちは、お金を用いて兵隊たちの口封じを成功させたのです。前半にもお話ししましたが、嘘がばれば、ローマ側から処刑されるような時代です。そんな緊迫した中であっても、兵隊同士が、祭司長の申し出に従い、イエスキリストの遺体は、復活したと見せかけるために、「われわれが眠っている間に弟子たちが盗んでいきました。」と言わせたのです。しかし、ローマ兵たちはこの当時夜番をする時、複数の兵士たちにより、2～3時間ごとに交代をして夜番をしていたはずなのです。寝てしまったならば、任務を話さなかったとして厳しい処罰を受けなければならない時代です。自分自身が死刑にさせられる場合もあるような時代です。兵隊たちは寝るわけがないのです。しっかりとイエスキリストの復活を目撃していたのです。しかし、祭司長達にお金を積まれ、自分たちが眠っていた間に弟子たちに盗まれました。と答えてしまったのです。

3. 絶望の中にいる弟子たちに会いに行かれたイエス様

イエスキリストの弟子 11 人は、遺体を盗むなんて気がすらなかったのです。自分たちが次は死刑にされるかもしれないという恐怖の中、一か所に集まり隠れていたのです。今日読んだマタイの福音書には、復活したイエス様が弟子たちに会いに行かれたところは詳しく書かれていませんが「ルカの福音書、ヨハネの福音書」には、復活されたイエス様が弟子たちと会われる場面が詳しく書かれています。

そこを読み進めると、弟子たち自身、イエスキリストの復活を信じるのがなかなかできなかったのです。トマスは有名ですが、手についている釘の穴に自分の指を入れて見なければ信じない。と言ったほどです。弟子たちは、この復活されたイエス様が自分たちのことをさすれずに会いに来てくれたことを通して、どんな時も主は私たちを見捨てないという大きな確信へとつながったのです。弟子たち一人一人が、しっかりと復活されたイエス様と出会ってから、弟子たちの本当の信仰が確立したのです。

●まとめ

「私たちが良い時も、悪い時もすべてを見ておられ共に歩んでくださる主」

今現代を生きる私たちともイエス様は共に歩んでくださいます。信じる一人一人のうちに生きて働かれます。私たちは、この生きて働く主を真剣に求め続ける者でありたいです。実際にイエス様と行動をした弟子たちですら、復活したイエス様を信じることは簡単ではなかったのです。ですから、もちろん今現代を生きる私たちが、キリスト教国でもない日本で信じ続けるということは困難なことです。しかし、信じる者は救われるのです。神様を求める者のうちにイエスキリストは共におられます。

原市場聖書教会
若村和仁

報 告

☆聖書を学びたい方、洗礼を希望される方はお気軽に牧師にご相談ください。

☆引き続き4月もコロナウィルス対策として、平日の集会、家庭集会はお休みとし日曜日の礼拝はおこないますが、賛美は一節のみ、聖餐式はお休みいたします。午後の昼食会、午後からの英会話や、子ども会は4月いっぱいお休みとします。また、熱がある方や、体調不良の方は、礼拝出席を無理せずラインにて礼拝を中継いたしますのでご利用ください。

また、礼拝堂に入られる時には、手の消毒をよろしくお願いいたします。

★礼拝中の席は、お隣とひと席空け、ゆとりをもってお座りください。

☆教会の台風被害雨漏り修理と、壁の塗り替え献金が満たされたため、3月9日より工事が始まっています。工期は一カ月半ほどです。工事が無事守られるようお祈りください。

☆イエス様の復活を感謝し私たちの神様への感謝の表れとして「イースター献金」をお献げしたいと思います。イースター献金袋をご用意しています。イースター献金にご利用ください。

4月の誕生日

3日 岡野あかね姉 18日 本多守兄 28日 佐藤裕子姉 30日 若村愛結歌ちゃん

☆若村和仁師 今週の外部奉仕&予定

- ・4月14日(火) NPO 法人あまやどり奉仕 (場所: 高麗聖書教会)
- ・4月15日(水) NPO 法人あまやどり奉仕 (場所: 高麗聖書教会)
- ・4月16日(木) NPO 法人あまやどり奉仕 (場所: 高麗聖書教会)
- ・4月17日(金) NPO 法人あまやどり奉仕 (場所: 高麗聖書教会)

本日午後の予定

☆礼拝後、昼食会はコロナ問題が落ち着くまでお休みいたします。

次週(4月19日<日>)

司 会: 本多崇兄

聖 書: □-マ7章1節~6節

説 教: 「御霊に生きる祝福」 若村和仁師

奏 楽: 本多こずえ姉

讃 美: 「スピリットソング」 今月の賛美「初めにおられた神のみことば」

聖歌408、聖歌195、聖歌472、聖歌383

受 付: 本多節子姉 献金感謝祈祷: 関久美子姉

先週の各集会出席者数

		子供	男性	女性	合計
4月5日(日)	教会学校ハレルヤキッズ	4人			4人
	礼 拝	4人	6人	10人	20人
					(礼拝はネット参加者含む)
	夕 礼 拝				お休みでした。
4月8日(水)	祈 り 会				お休みでした。

集会案内

4月15日(水)	祈 り 会	お休みいたします
4月19日(日)	ハレルヤキッズ	9:30 ~ 10:15
	礼 拝	10:30 ~ 12:00

頌 栄

聖歌383

「ちち・みこ・みたまの」

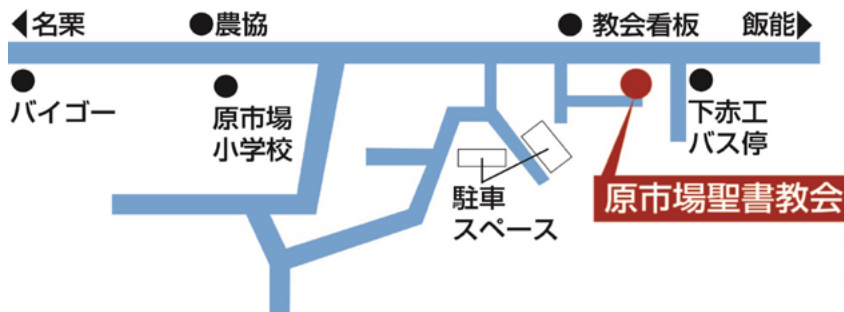
To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ やややく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか

わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッズ	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッズスペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6
 TEL:042-977-0254
 FAX:042-980-6442

牧師: 若村和仁